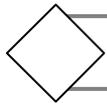


(2) のじぎく兵庫国体やのじぎく兵庫大会の成果を生かしたスポーツの振興



「元氣な兵庫」の実現をめざしたスポーツ活動の推進

[今後の方向と目標]

「のじぎく兵庫国体」や「のじぎく兵庫大会」の開催を契機として策定した「兵庫県スポーツ振興行動プログラム³²」に基づき、県民だれもがそれぞれの年齢や体力に応じて、いつでも、どこでも、気軽にスポーツを楽しむことができる体制や環境を整備することが求められている。

このため、県内すべての小学校区で住民が主体となって運営している「スポーツクラブ21ひょうご³³」を支援し、その活動を地域の活性化につなげるとともに、障害者スポーツの振興を図り、スポーツを通して障害者の社会参加と障害への理解を促進する。

また、「のじぎく兵庫国体」に向けて高められた競技力を継続・発展させ、長期的展望に立った取組を進める。

特に、以下の事項を、取組に関することをはじめとした具体的な目標とする。

成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率60%、スポーツクラブへの加入率33%の達成(平成23年度)

「スポーツクラブ21ひょうご」の活動支援.....県内全域

県政推進プログラム100：地域スポーツ活動支援事業～スポーツクラブ21ひょうご～の会員数400,000人の実現(平成23年度まで)

市町における障害者スポーツ振興の組織化.....全市町

ひょうご障害者福祉プラン：市町における障害者スポーツ振興の組織化数.....41市町(平成26年度)

障害者スポーツ競技団体の組織化.....33団体以上(平成23年度)

ひょうご障害者福祉プラン：障害者スポーツ競技団体の組織化数.....50団体以上(平成26年度)

障害者スポーツ振興のための指導員やボランティアの人材確保

.....3,000人以上(平成23年度)

ひょうご障害者福祉プラン：障害者スポーツサポーターの登録者数.....4,000人(平成26年度)

国民体育大会での継続的な天皇杯8位以内入賞(平成19年度～)

国内外で活躍する本県選手数400名以上

[施策の取組]

県民の運動・スポーツ実施を促進するため、親子で行うファミリースポーツを中心としたスポーツ促進プログラムを開発しその普及に努める。

³² 兵庫県スポーツ振興行動プログラム.....「のじぎく兵庫国体」「のじぎく兵庫大会」の開催を契機として高まった県民のスポーツへの関心や全国トップレベルにある競技力等の継承・発展を図るとともに、県民一人ひとりが“いつでも、どこでも、気軽に”スポーツに参加できる環境整備を推進するため、「生涯スポーツ」「競技スポーツ」「障害者スポーツ」の3つの柱立てをし、平成19年度から平成23年度までのスポーツ振興施策を総合的に推進するための10の具体的な行動(アクション10)を示した行動プログラム。

³³ スポーツクラブ21ひょうご.....県民の豊かなスポーツライフを実現し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりを進めるため、平成12年度から、県内の全小学校区を基本単位として、地域の誰もが参加できる総合型地域スポーツクラブの設立・運営を支援。

6 県民だれもが生きがいをもって地域社会に参画する生涯学習社会づくりを推進します

「スポーツクラブ21ひょうご」の活動を支援するため、クラブアドバイザー派遣事業の実施や、全県交流フェスティバルを開催し子どもたちの活動応援など各クラブによる取組事例の発表やクラブ間の情報・意見交換を行い、クラブ運営の充実を図る。

障害者が身近なところでスポーツ活動に参加できるよう、市町における障害者スポーツ振興の組織づくりや障害者スポーツ競技団体の組織化を推進するとともに、指導員やボランティア等の人材の確保を図る。

国内外で活躍するトップアスリートの育成をめざし、競技力向上事業を推進する。

全国レベルの競技大会の誘致に努め、県民にレベルの高い競技を観戦する企画を設けるとともに、オリンピック選手等を招いてのスポーツ教室を通じて子どもたちに夢や希望を与え、スポーツ人口の裾野の拡大を図る。

[これまでの主な取組]

「スポーツクラブ21ひょうご」活動支援事業(～H21:地域スポーツ活動支援事業「スポーツクラブ21ひょうご」)
補助金の交付、クラブアドバイザーの派遣、クラブ間交流行事の開催を行う。

兵庫県民体育大会、ひょうご生涯スポーツ大会

県民だれもが参加できる競技会や生涯スポーツの大会を県内で開催し、県民スポーツの振興を図る。

神戸全日本女子ハーフマラソン大会

トップアスリートの走る姿を通して県民に夢と感動を与えるとともに、兵庫・神戸の魅力を全国に発信する。

ひょうご・神戸マラソン(仮称)の開催準備(H22～)

ランニングを核とした県民スポーツの振興を図るとともに、兵庫・神戸の魅力を国内外に発信するフルマラソン大会の平成23年11月開催にむけ、神戸市と共同で準備委員会・実行委員会を立ち上げ、本格的な準備を進める。

「はばたん スポーツ基金」活用事業

「はばたん スポーツ基金」を活用し、全国規模の大会を誘致し、質の高い競技や選手を観戦する機会を提供する。

ジャパンオープン・荻村杯2010国際卓球選手権神戸大会の開催(H22～)

神戸市において6年ぶりとなる標記大会を開催し、国内外から多数の選手を迎え、質の高い競技を観戦する機会を提供する。

第19回アジア陸上競技選手権大会ホスピタリティー検討事業(H22～)

平成23年度に神戸市で開催される標記大会の開催に向けて、神戸市と共同で開催支援実行委員会を立ち上げ、ホスピタリティー事業を検討する。

野外活動・体育施設の運営

体育・スポーツ・文化及び野外活動等の振興を通し、青少年をはじめ広く県民の心身の発達に寄与することを目的として、兔野高原野外活動センター、総合体育館、文化体育館、海洋体育館、武道館等を運営する。

障害者スポーツの振興

障害者のじぎくスポーツ大会の開催、全国障害者スポーツ大会への選手派遣のほか、障害者スポーツ指導員の養成などを行う。

はばたけ兵庫推進プラン

国民体育大会での上位入賞をめざし、指導者養成や選手強化事業、ジュニア選手の育成などを行う。